

# 給食センター建設経過報告

- 建設等検討委員会の設置  
平成21年5月1日
- 検討委員会の答申（提言）  
教育委員会へ提出  
平成21年12月3日  
教育委員会承認  
平成21年12月25日
- 用地の決定  
平成23年8月3日
- 設計業務委託事業者決定  
平成24年3月21日
- 建設にかかわる地元説明会  
平成24年6月22日
- 実施設計業務委託契約  
平成24年8月1日着手  
平成25年3月29日完成
- 用地造成工事請負契約  
平成25年3月29日施工  
平成25年10月31日完成
- 主体・機械・電気設備工事  
平成25年10月1日施工  
平成26年7月18日完成
- 落成式  
平成26年8月21日

## 栄養教諭から見た新センター

環境面では衛生的なドライシステムが採用になり、クーラーなどの空調設備も十分に整いました。調理面では、蒸気・熱風対流オーブンを活用することで、メニューの種類が増え、子どもたちにとって、うれしい状況になりました。お皿の種類も増え、料理の幅が広がります。新しい機器を使いこなせるようにトレーニングも行いました。安全で、よりおいしい給食を提供できるようにがんばります。

環境面では衛生的なドライシステムが採用になり、クーラーなどの空調設備も十分に整いました。調理面では、蒸気・熱風対流オーブンを活用することで、メニューの種類が増え、子どもたちにとって、うれしい状況になりました。お皿の種類も増え、料理の幅が広がります。新しい機器を使いこなせるようにトレーニングも行いました。安全で、よりおいしい給食を提供できるようにがんばります。

土佐山田学校給食センター  
栄養教諭 田内ほかか



まごころ込めて  
つくりま〜す！



▲調理員

## 給食が届くまで

8:00 食材納品  
下準備  
9:00 加熱調理  
10:15 仕上げ  
10:50 配食  
11:15 運搬  
11:30 各学校へ  
12:20 給食開始※

※学校により異なる



建物構造／鉄骨造2階建  
延床面積／2,023.2㎡  
調理能力／1日約2,000食



落成式

## 特集 新しくないました

# 土佐山田学校給食センター

8月21日、市立土佐山田学校給食センターが落成しました。2学期から、土佐山田町内の小中学校へ、同センターで作られた給食が配送されます。

香美市には3つの学校給食センターがあります。今回、土佐山田町内にある小学校5校と中学校1校の給食を担当する土佐山田学校給食センターが土佐山田町北本町2丁目に移転落成しました。

30年以上前に建設された土佐山田町山田の旧センターは、施設・設備ともに近年、老朽化が著しく進行していました。修繕や機器の入れ替えといった保守のメンテナンスをはじめ、時代に即した安全性と利便性の向上、南海トラフ地震に備えた耐震対策など、あらゆる面で一刻も早い対応が迫られていました。

新センターは、各学校とのスムーズなアクセスや、連携性を考慮した位置に建設しました。オール電化機器による最新の設備で、旧センターの多くの課題を解決し、設備や機能面が強化され、リニューアルを果たしました。

もちろんハード面だけでなく、地元食材をさらに盛り込む工夫や、オール電化機器を有効に活用した新メニューの開発など、ソフト面の強化にも努めていきます。

また、子どもたちだけでなく、施設見学会や試食会を開催し、より身近な施設を目指して、スタッフ一丸となって取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

## 学校給食センター所長のイチ押し

ココがスゴい！

- ①調理場全体の床面を常に乾いた状態に保ち、ウイルス等の汚染を防ぐドライシステム導入と、世界各国で衛生管理手法の共通基準として広く認められているHACCPの概念に基づいた作業区域の区分整備
- ②経済的なランニングコストと、火気を使わない安全性。優れた効率性能、二酸化炭素の低排出を実現するオール電化システムの採用
- ③卒業祝いなどの行事食にも対応できる特別調理室と、アレルギー食に対応する個別調理室の設置
- ④食育拠点として給食の試食や調理の見学が行える専用スペースの併設
- ⑤専用の備蓄室も完備するなど、災害時における食料供給拠点としての機能の確保
- ⑥給食の残飯の減量化と液肥化を図る液肥化システムの実現



学校給食センター所長  
横谷勝正